

10月11日（日）は 石作神社 秋の大祭

こぞってお出かけください

✧ 午前10時30分から**お祓いの儀**に続いて

神事が雅楽の調べとともに執り行われます



✧ 午前11時30分頃から**お神楽**が奉納されます

✧ 午前11時30分頃から**棒の手**が奉納されます

石作神社の祭神は、「建真利根命(たてまりねのみこと)」で「人皇54代仁明(にんみょう)天皇」の承和(じょうわ)元年(西暦834年)の鎮座で、由緒は極めて古い神社です。岩作地区の人々の平和・安全・繁栄の守り神として崇拝されてきました。

ほかに、「家内安全」「商売繁盛」の代表的神様であります「恵比寿天」「大黒天」をお祀りしています。

なお、天候などの事情により予定を変更する場合がありますが予め了承ください。

お問い合わせは、各地区の岩作区協議会・岩作石作会・オマント保存会の役員、氏子総代まで。

11月23日（月曜日、祝日）は



にい なめ さい
石作神社 新嘗祭

◇ 午前11時00分から お祓いの儀に続いて

雅楽の調べとともに神事が執り行われます ◇

祝 七五三
石作神社



御祈禱 申込は石作神社 電話0561-62-4020

七五三詣でこどもの成長のお祝い 神社での参拝で心に残るひとときを
「健康に大きくなってありがとう」「よちよちと歩いていた頃を思い出して」

七五三とは

七五三は、古来に行われていた3歳「髪置きの儀」、5歳「袴着（はかまぎ）の儀」、7歳「帯解（おびとき）の儀」に由来するもので、現在も3歳、5歳、7歳にお祝いをします。

女の子は3歳と7歳、男の子は3歳と5歳（5歳のみ、という説もあり）の儀式をするとされており、現在の七五三のお祝いも女の子は3歳と7歳とするのが一般的です。

本来、七五三のお参りは氏神様、つまり家の近くの神社に行くものとされています。

神社などで七五三のお祝いやご祈禱をする日は、一般的には11月15日です。ママ・パパのお仕事の都合もあるため、近年は11月15日の前後1、2ヶ月に参拝をする方が多いようです。

石作神社は、明治5年に郷社に指定され、戦前まで岩作・長湫（以上 長久手市）・高針・上社・一社・藤森・猪子石（以上名古屋市名東区）をミヤシタ（宮下・配下・氏子のこと）とする総宮（総氏神）でもありました。現在は、長久手市岩作（住居表示）地区の氏神さまです。本殿と社務所は、昭和49年（1974年）に新築されました。